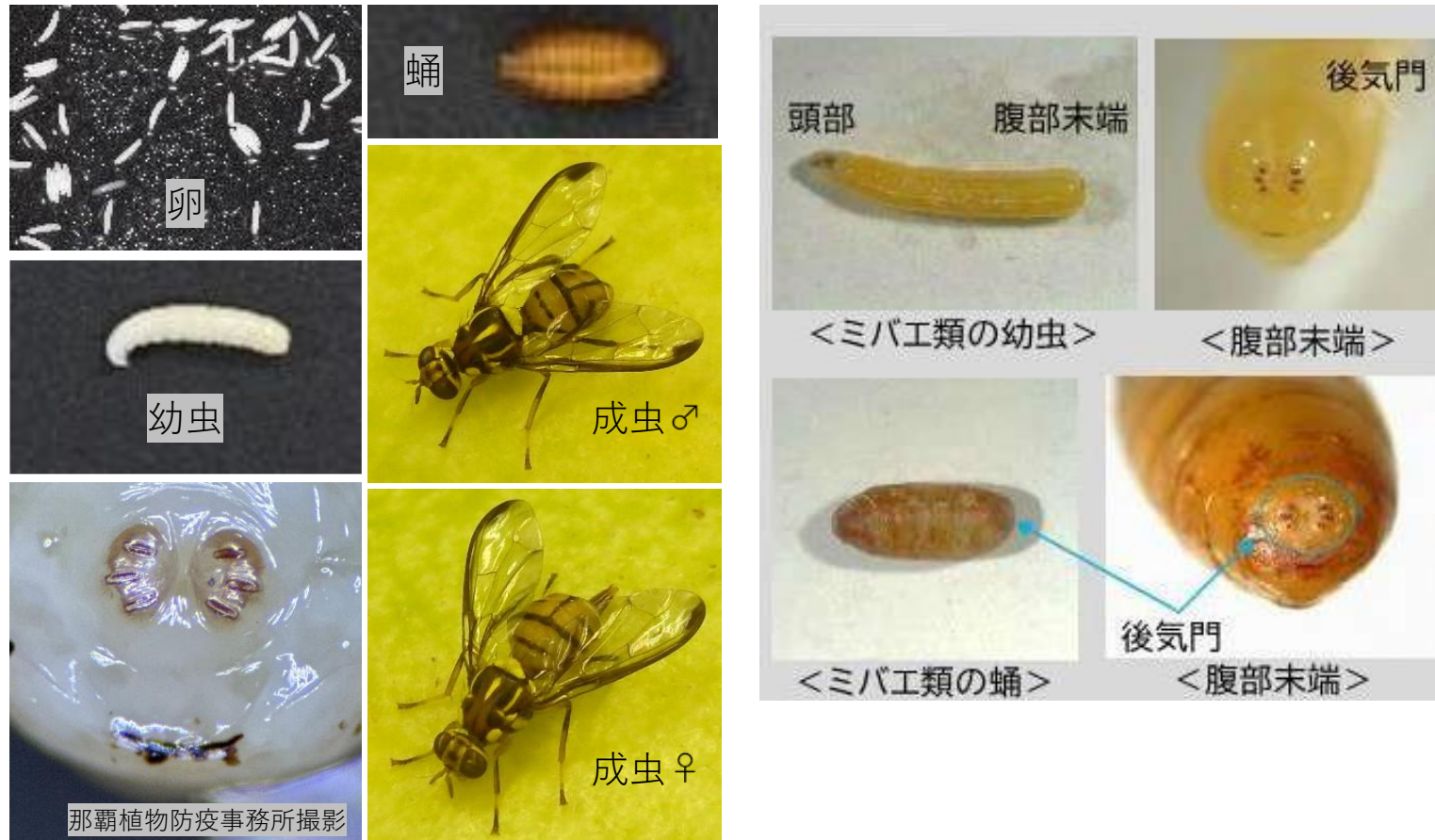
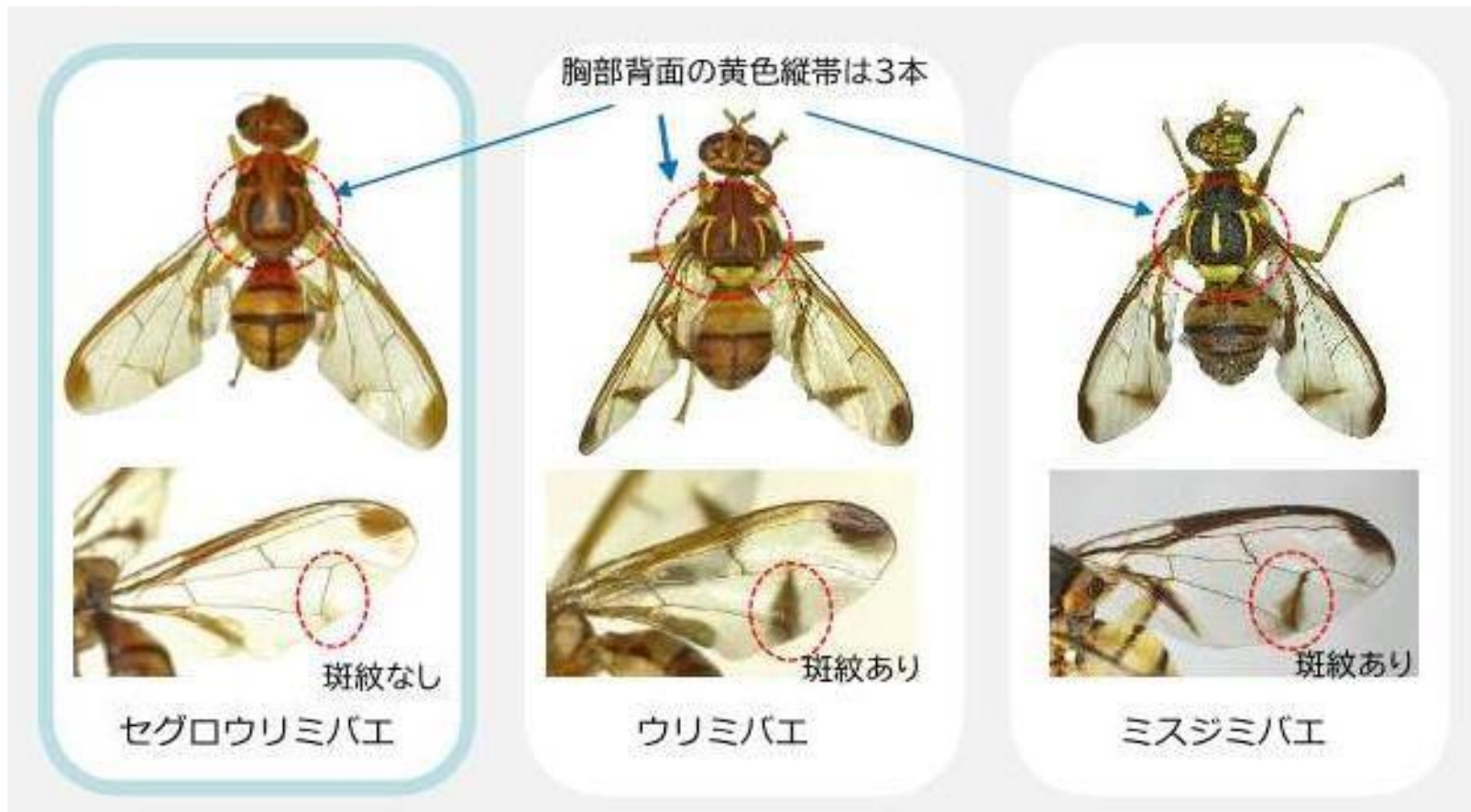


和名：セグロウリミバエ

学名：*Bactrocera tau*(Walker)または*Zeugodacus tau*(Walker)



植物防疫所病害虫情報138号-③(2025)、沖縄県病害虫防除技術センター「セグロウリミバエ防除ハンドブック」より



沖縄県病害虫防除技術センター「セグロウリミバエ防除ハンドブック」より



図 セグロウリミバエの生活史

【発育温度】

- セグロウリミバエの発育零点、有効積算温度等は表のとおり。
- 総合的な繁殖力は25℃で最大、日あたり出生率は28℃で最大である。
- 年間世代数(那覇)は約11世代である。
- 1世代期間は夏季で23日、冬季で52日前後である。
(那覇市の気温をもとに世代推定)

表①：発育零点、有効積算温度

| 発育 ステージ | 発育零点 | 有効積算温度 |
|------------|--------|----------|
| 卵 | 9.3 °C | 15.8 °C |
| 幼虫 | 6.7 °C | 113.8 °C |
| 蛹 | 9.3 °C | 144.4 °C |
| 産卵前期間 | 8.6 °C | 180.8 °C |
| 卵→羽化 | | 273.9 °C |
| 卵→産卵 | | 454.7 °C |

表②：ステージ別の成熟に要する日数

| 発育 ステージ | 生育温度別日数 | | |
|------------|---------|------|--------|
| | 15°C | 20°C | 25°C |
| 卵 | 2.8 | 1.5 | 1.0 日 |
| 幼虫 | 13.7 | 8.5 | 6.2 日 |
| 蛹 | 25.3 | 13.5 | 9.2 日 |
| 産卵前期間 | 28.1 | 15.8 | 11.0 日 |
| 卵→羽化 | 41.8 | 23.5 | 16.4 日 |
| 卵→産卵 | 69.8 | 39.3 | 27.4 日 |

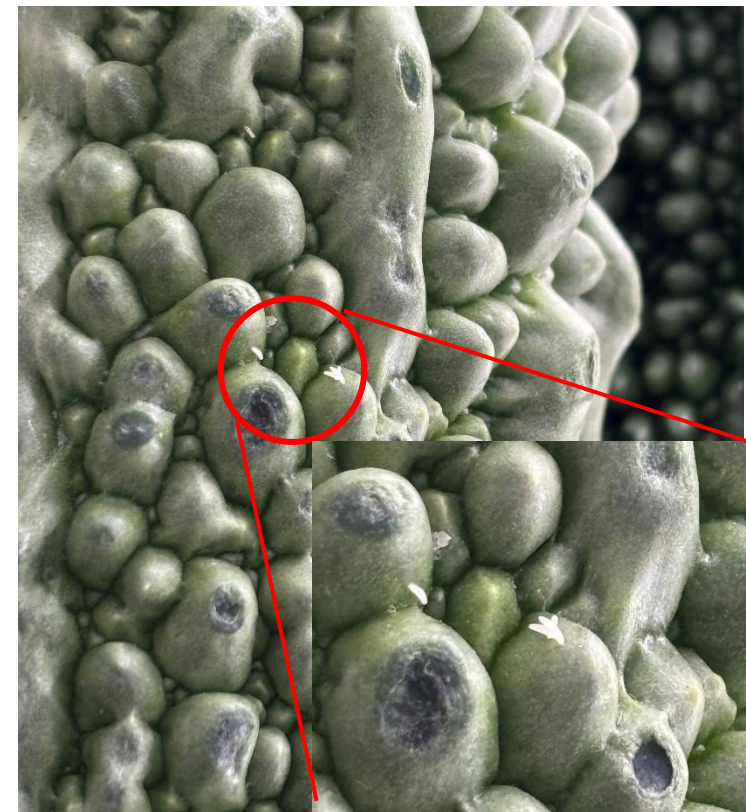
Zhou et al (1994) を改編

以下の資料は、那覇植物防疫事務所内の飼育室において、飼育箱内で強制産卵により作出したニガウリです。
このため、実際の収穫物とは状況が異なる可能性があることにご注意願います。
少しでも怪しい（商品としても）と思ったものは、収穫物検査時に再度選別させるなどの対応をお願いします。

【ニガウリ】産卵・産卵直後 卵のサイズ 体長 0.8mm 内外、幅 0.2mm 内外

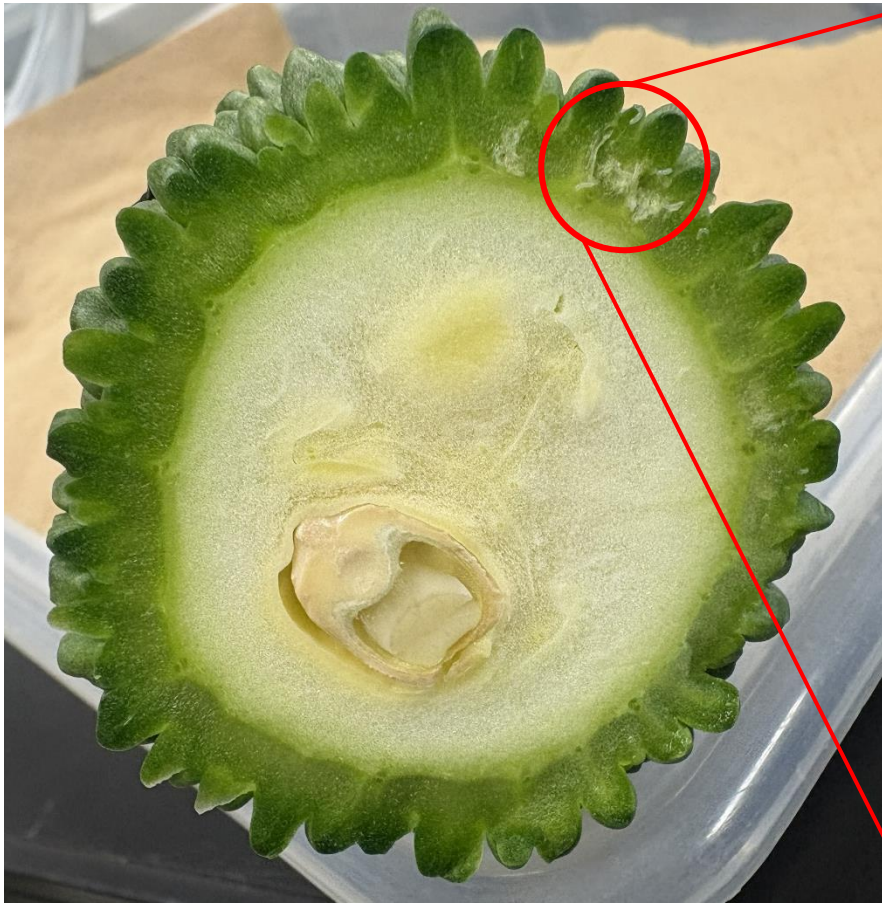


果実表面の凹みに産卵管を挿入し、産卵している。



実表面でも卵（○内）が確認された。

【ニガウリ】産卵後1日目 1 齢幼虫のサイズ 体調 4mm 内外 幅 0.5mm 内外



産卵孔及び1 齢幼虫 (○内)



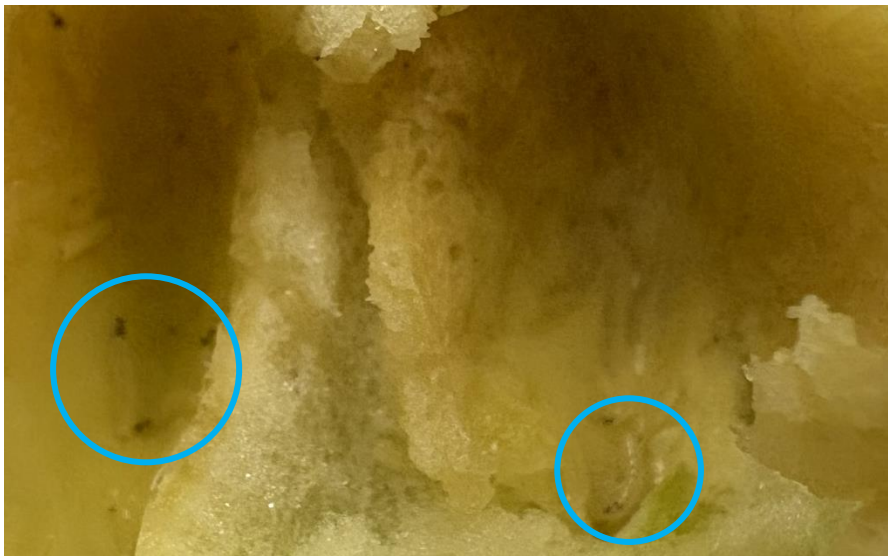
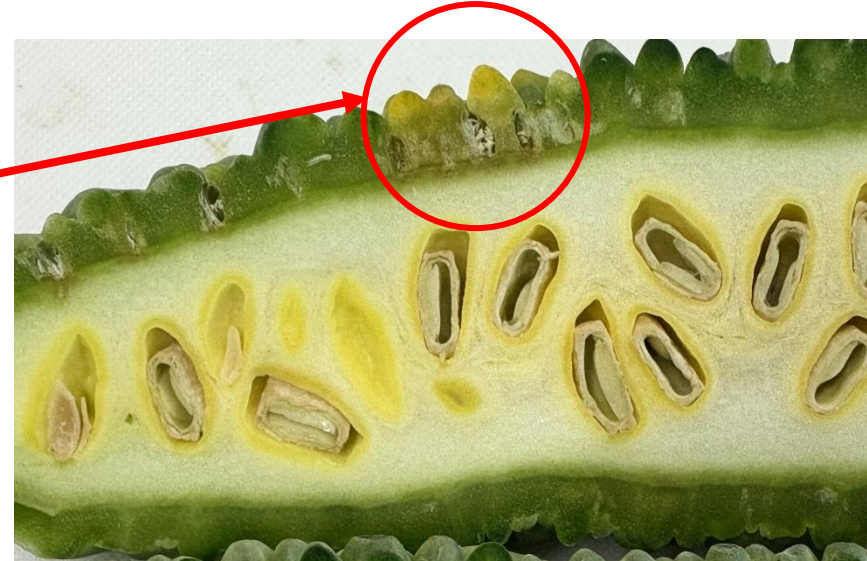
(左拡大図) 産卵孔 (○内) 及び1 齢幼虫

【ニガウリ】産卵後 2 日目 幼虫のサイズ 1 齢幼虫より若干 (0.1~0.2mm) 大きい



産卵孔跡 (○内) 及び 1 齢幼虫

【ニガウリ】産卵後3日目



(上) 産卵孔跡 (○内)

(下) 胎座の種子周辺まで食入した幼虫 (○内)

【ニガウリ】産卵後6日目 老熟幼虫のサイズ 体長8mm 幅1.5mm



果実内部から腐敗



果実内部の老熟幼虫